

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)
------------------	---

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川
--------------------	---------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5 人	人	人	5 人

前回の改善計画	新規契約の際には可能な限りの情報を得るよう今後も努める。ケアプランからの個別援助計画による支援をより徹底化し、会議の際に変更点等の確認を行い、常に適した介護支援を継続する。人による意識の差は根気よく伝える事で少しでも解消を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	契約をする前に体験利用をされる事を勧め、その上で判断していただく事を心掛けた。利用者ごとに個別援助計画を作成し、支援内容の共有をはかるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	3			5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		5			5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	2			5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	2	2		5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・可能な方には新規契約前に体験利用を提案し、通い (デイ) の状態を見て判断していただいた。 ・紹介者やご家族からの状況を十分確認し、取れる情報はなるべく得るように心掛け、事前情報として職員に口頭や書面で報告を行った。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・個別援助計画を作成し定期的見直しをしてはいるが、完全に共有化が出来ているかわからない。 ・計画をもとに、細かい支援の変更などは、送りやノートで伝えているが確認レベルに差が見られる。 ・家人の思いをなかなか聞き取ることが出来てない。 ・家人と話すのはケアマネか管理者がほとんどなので、そこからの情報を得ることが大半。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・納得し快くご利用をしていただくためのニーズや情報収集は今後も行う。 ・速やかに支援ができるよう職員内の情報共有も徹底する。 ・担当制による個別援助計画を継続し細かな支援に配慮する。 ・多職種連携を積極的に実施する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	人	人	5人

前回の改善計画
担当制を継続していく事で、利用者への関心度をより高める事に努める。限られた職員だけがまとめるのではなく、全員で関わり利用者・ご家族の望まれる事を見出していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
自分が担当するご利用者への関心や意識が高くなった感じは見られたが、思いや自分の意見を積極的に発信していく部分がまだまだ弱いように感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1	4		5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	3		5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2	3		5
⑤	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	3		5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・明確に思いが言える方には可能な支援を行えている。
・利用中の会話から望まれる事を引き出す工夫は行っていた。
・会議で各人から様子や出来事を伝えあい、共有するよう努めた。
・昔話をしながら、残存記憶をたどりしかなかった事などを聞き出す事なども行う。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家人と本人の思いの差に対処できず家人が中心になってしまうケースが大半見られる。
・認知症の方への会話の引き出しがまだまだ未熟で通り一遍の会話で終わる時がある。
・その場の楽しさだけに満足してしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・認知症の方に対する様々なアプローチ方法を学び自身のスキル向上をはかる。
・こなす業務だけでなく、考えて行動できる力を養う。
・常に利用者を知るための意識を持ち、良い情報は共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3人	2人	人	5人

前回の改善計画	自発性を促すケアを今後も継続していく事と、自尊心にも十分配慮したケアを行うようにする。認知症を理解した上での認知症ケアをするために研修や互いの意見交換を会議時にもうけ実践に活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	危険を回避しつつ、ご自分で行える各動作については過剰な介助を行わず自発性を促すことは実践できたと思う。研修や会議での発信は適時行っているものの、認知症ケアの理解度に差が生じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	3	1	5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		5			5
⑥	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	2		5
⑦	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	2			5
⑧	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	2			5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな変化や異変については常に観察をすることで把握できるよう努めた。 ・変化については、看護や所長に速やかに伝え対応をはかった。 ・家人への連絡も速やかに行い、受診・往診などの対応も適時行った。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・10 個以上のハードルがなかなかクリアできない。 ・研修への参加がまだまだ少ない。(2回は参加) 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの認知症ケアの理解度を上げる。 ・介護力の底上げをはかりレベルの高い介護を目指す。(偏りを少しでも減らす) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	2人	人	5人

前回の改善計画
コロナ禍の継続で先が見えず、交流そのものが改善出来ない状況が続いていますが、ご家族を中心に状況の把握に努め、細かい糸口からでも様々な社会資源を活用できる場があれば、積極的に情報を取りに行く姿勢で利用者の支援を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナによる中止は今年度もありましたが、再開された地域の行事や交流会等には可能な時には参加をしました。また独居の方がいる所には入退院時などに民生委員さんと連携を行い見守りの対応に活かした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4			5
③	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	1		5
④	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	1		5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	2	1	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・送迎時や連絡ノートを使い家人とのコミュニケーションをはかり情報の共有に努めた。・ケアマネや所長から聞く、家人からの希望・情報を理解し仕事に活かした。・本人様との会話の中で引きだす事を心掛けた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・家族と関わる機会がほぼない。・独居の方の家人との関係がどうしても希薄な面が見られる。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・それぞれの役割をまずしっかりと行いつつ、事業所や家人だけでなく、様々な地域資源を活用した支援体制を意識しながらご利用者のサポートにあたる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	1 人	人	5 人

前回の改善計画	小規模多機能としてのサービス提供がまだまだ完全にはかかれていない。とはいえ限られた資源の中、出来もしない要望を安易に受け入れる事は出来ないですが、少しでもサービスが向上していく為の意識をそれぞれが持ち、個々が出来る最善の事を実践し望まれるサービス提供を目指していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	現状を理解した上で、各人が出来る事に取り組んできたようには思う。利用者や家人が希望される内容には出来る限り対応をできるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	2		5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	3			5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	2			5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	3	1		5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">限られた人数の中で出来る事は行った。利用については本人様の変化に合わせ、家人と相談しつつ利用の組み合わせを適時配慮した。急な利用依頼にも極力対応できるよう努めた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">希望に添えてない面がまだある。(急な泊り希望で体制が取れなかった時など)曜日により職員配置に差があり動きが制限されてしまう。(外への動きが出来ず行事不参加等)	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">ご利用者には小規模サービスのメリットを活かしたご利用内容を今後も提案していく。現状以上のサービス拡大を進めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	1人	人	5人

前回の改善計画
地域の行事その他が再開されれば、少しでも参加をし交流をはかっていきたい。また、ご利用者もお連れした地域交流も目指したい。地域密着サービスとして、皆で外への意識を持ちつつ行事参加も行なっていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナによる行事中止は引き続きありましたが、再開された茶まつりや、やすらぎカフェでの外部交流など、参加できそうな分には可能な限り利用者をお連れした。また花見や紅葉時にはドライブを実施し、季節を感じていただけるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	2	2	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1		4	5
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	2	1	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			1	4	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・外部行事や交流には少しづつですが利用者との参加ができ始めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・立地的な面もあり開放された事業所作りが進めにくい部分がある。
・来ていただくよりも出ていくことが多いのが現状。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・ケアマネや所長が参加した様々な地域の会に対し、報告のあった内容に介護・看護の現場職も興味を持ち理解を深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

7. 運営

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	3 人	人	人	5 人

前回の改善計画	人員の資源が限定されているためそれぞれの質の向上は元より、皆で関わる事が求められる中、小規模多機能サービスとしてやるべき事を会議等で繰り返し共有し理解を深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月実施している職員会議において、利用者の状況確認とあわせ、古市館の現状を常に知らせそれぞれが何をしていくべきかの意識を発信し続けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	1	1	1	5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	2		5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		1	2	2	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			2	3	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">今できる最善のサービスを利用者に提供するという意識が、まだレベルに差はあるが、それぞれが意識しながら行動している様子は少しずつですが見られるように感じる。本人や家人の要望には出来る限り対応をしてきたように思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">地域の方との接点がまだまだ薄い。交流する人員が限られている。開放的な事業所にできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">外に出て行くだけでなく、1 F のフロアを活用し事業所内で地域交流がはかれるイベント等の開催を目指したい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	2 人	人	5 人

前回の改善計画	会議の際に医療や介護の研修も適時導入していく。また感染症対策についても年間を通しての対策として重要視していく。それぞれに認知症への理解をより深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ対策として内外での感染症に関する研修への参加や、認知症介護を含めた虐待や緊急時等の研修を、職員会議内において定期的に開催し理解を深めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		5			5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	3	1	5
③	地域連絡会に参加していますか		1		4	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2	1	2	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">外部研修の参加も前年よりは多く参加出来たと思う。コロナに関する内容は行政や本園からの情報を把握し最善お策を取れる状態にしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">地域の連絡会はケアマネに参加してもらい情報を共有している。職員の参加はほぼない。職員からの積極的研修参加希望の声があまり見られない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">オンラインなども活用し積極的に研修参加を行なっていく。虐待や感染症の必須研修だけでなく、認知症・権利擁護や介護力アップに繋がるよう内部研修も会議時において適時実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 12 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 藤本 三輪 山内 松本 濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	4人	人	5人

前回の改善計画	権利擁護の理解を深めていくために研修等で発信を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議で虐待に関する研修は開催したが、権利擁護を含む人権に関する内外の研修はいずれも参加できずじまいでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	1			5
②	虐待は行われていない	3	2			5
③	プライバシーが守られている	1	4			5
⑤	必要な方に成年後見制度を活用している			1	4	5
⑥	適正な個人情報の管理ができている		5			5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 個人情報はファイリングし保存出来ている。・ 身体拘束や虐待は防止できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 成年後見制度は対象となる方もいなかったため行えなかった。・ 声掛けでたまに気になる (不適切) シーンがまだ見られる時がある。・ 注意、意見等を遠慮なくいえる職場環境にはまだまだ到達出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ ご利用者の権利を守る観点から、人権擁護に関する理解・知識も各人で深めるよう努力していく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 丹南厚生会	代表者	芝 拓哉	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、高齢者の皆さまの尊厳を重んじ、その人らしい自立生活の支援を行いながら、共に助け合う地域社会の実現に向け事業を行っております。その中で、当事業所は平成29年12月に小規模多機能型居宅サービスとしてスタートしました。特別養護老人ホームやすらぎ園のバックアップを受けつつ、嘱託医でもある西井クリニックもすぐ隣りにあり、医療面においても協力をいただく中で、高齢者の皆さまが住み慣れた場所で長く暮らしていただけるために、通い・泊り・訪問のサービスをそれぞれ個別に組み合わせをしながら、その人にあった支援内容でサービスを行っております。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護センター やすらぎ古市館	管理者	濱川 茂		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	3人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務の連携、情報共有はもちろんのこと、個別援助計画書に皆が真摯に取り組む事で、常にその人に適した支援内容を見つけ職員間で共有していく。 外部交流の場を少しでも多く見出ししていくよう努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での様々な共有化はそれなりに構築は出来つつありますが、外部交流については、行っても出向くことが中心で事業所が主体となり来ていただく形での交流がまだまだはかれています。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当とか個別援助計画とかイメージが湧かない面がある。 個人情報に注意した上で、ケアプランなどの書面を見せる事でイメージが出来ないかと思う 各人の評価の差はあるものの、みんなで取り組もうとしている姿勢は感じ取れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年の結果よりも出来ている項目が少しでも増えるよう、意識した行動を継続する。 内外部の研修を出来るだけ受講し現場の活動に活かす。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前にはご家族の協力も得ながら、お花など華やかな雰囲気作りを行う。 玄関からE Vまでの間はこれまで通り、利用者の作品や小規模の情報などがわかるような演出を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進委員でもある利用者のご家族に定期的に持参いただき、季節を感じる演出と置き場所にも工夫しながら雰囲気作りに努めました。 利用者が作られた作品や広報誌、行事のポスター等使用し演出をはかることを継続しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 2F利用がメインの中、自動ドアで勝手に入れる環境は、今の時代防犯的にどうかと思う。 自動ではなく、手動で対応してはどうか。 →意見を受け直ぐに実行する。 利用者の作品展を1Fで行った 利用者が居られるフロアをゆっくり見れていない 	<ul style="list-style-type: none"> 入口近辺の華やかな演出は今後も継続していきます。 防犯面の配慮と、活動の様子を見ていただくことで、わからないとの回答を少しでも減らす努力をします。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の行事だけでなく、再開された地域の行事や交流の場に出来るだけ出向くようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 味間奥で再開されたお茶まつりや、認知症カフェでの出張健康セミナーや古市小学校生徒との交流会に利用者とともに参加させていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> おおむね出来ていると思う。 参加スタッフに偏りが見られるように思う。 →利用者の介護もあり、どうしてもケアマネや管理者が参加する機会が増えてしまう。全員で参加できるような体制も可能な時は 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で行われる行事には可能な時は参加をします。その際は現場の職員も一緒に外に出向けるよう努めます。 地域とのかかわりに繋がる会議等にも可能な限り参加するよう努めます。

			実施します。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の経験で、直接的な関わりに大きな制限がかけられる中、今までと違う関わりや交流の方法を模索し、利用者の支援を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問件数が少ないこともあり、出向いての様々な交流部分においては大きな成果を出せていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所の心配な方とはどんな方なのか？ →高齢者だけでなく、様々な釈迦資源を必要としている方訪問数が少ないため、機会はそんな多くない。出来る時は関わりを持つようにつとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域その他で開催される行事に利用者と共に参加をして参ります。 ・課題である訪問数を増やし様々な関わりにつなげていきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議において、ご利用状況や活動内容を今まで以上に詳細に説明を行い 小規模の活動内容を理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の状況や利用者の状況また活動報告などは、よりイメージを持っていただくために広報誌を使用しながら説明を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を使用しての説明なので活動内容はある程度イメージできる ・会議以外での交流がまだまだ少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月の会議を確実に開催し、各委員との交流を深めます。 ・会議時において、活動状況をイメージできる内容報告に努めます。 ・事業所で開催できる行事を目指します。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で行う消防訓練を適切に開催し、夜間緊急対応も全員で共有化する。 ・外部で防災訓練等がある時は、可能な時はできるだけ参加をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で9月と3月に利用者も参加しての消防訓練は実施しました。 ・地域への防災訓練への参加は行えずじまいでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で行われている訓練等への参加も検討をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員も巻き込んだ防火訓練を実施します。 ・事業所内メンバーでしっかりと防災計画を共有する。

